

【重要プロジェクト】 ～高校魅力化事業～

「重要プロジェクト設置の目的」

和気閑谷高等学校（以下、和気高）は町内唯一の高校として地域活力維持の要の一つと目されているが、少子化などの影響もあり定員割れの状況が続いている。その状況を改善するため高校魅力化プロジェクトの諸策が推し進められている。

その中でも、就業体験を軸とする学校設定科目「地域協働探究」について、高校魅力化の一要素としての貢献に留まらず、高校生が地域で働き地域で暮らすことのリアリティを実感することで、卒業生の「地域就労と定住」のきっかけにもなり、就業体験をきっかけに和気町内の企業に就職をするなど、地域課題の解決に「直接」につながる要素を持ち得ている。

また、和気町では R7 年度に地域学習交流センターが運用開始されている。同センターを地域と和気閑谷高校の生徒が交流する基点にし地域との関わり合いの深化を図り地域への愛着が醸成する。

平成 28 年からのいままでの取組

～地域おこし協力隊による地域連携～

地域との連携

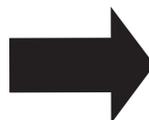
- ・地域学習と交流

ボランティア活動
駅前イルミネーション
恩返しプロジェクト

就業体験

- ・生徒と企業の連携

就業体験の履修単位
(2年5単位・3年6単位)
就業体験事業所
(80事業所、150名)



令和 8 年度からの取組

～自走化に向けた取組～

和気高が主体となり推進 学内プロジェクトによる連携強化

【マニュアルのよる仕組み化と教員への研修】

地域おこし協力隊が行っていた業務のマニュアル化
研修による教員のスキルアップと目的の共有

【業務のスリム化と再構築】

カリキュラムと業務内容の見直し
高校と地元団体&企業との連絡会の組成

§ 地域交流学習センターの活用 §

令和 7 年度に運用が開始された地域交流学習センターを核とし、地域と和気高生が地域課題解決のためのイベントやワークショップを行うことで地域との連携を深める。さらにこれらの取組を通じ生徒の自主性や効力感を育て、向上心と向学心を育む。